

# 「仮説検証ブートキャンプ」のご紹介

## 「仮説検証ブートキャンプ」開催決定

「Edge Tech+」はこれまで、時代に合わせた人材育成プログラムを提供してきました。そして、今年からはVUCA (Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)という掴みどころのない時代に、よりの確な目的(事業目標や商品像)を見つけるためのスキル「仮説検証」を効率的に実践できる新しい人材育成プログラムを提供いたします。詳細は[こちら]をご覧ください。!

(<https://hv-bootcamp.biz/>)



## AI活用時代に必須の「仮説検証」

AIは今後の時代をリードする技術であることは間違いありません。このAIを活用するためには、仮説検証の実践方法を学び、習得することが重要です。長年の技術開発の努力により、さまざまなセンサーや解析技術が進化し、AIによるデータ収集と仮説提示が可能になりました。大量のデータが集まることで、的確な検証が実現し、「仮説検証」はAIビジネスの成功に欠かせない要素となっています。

しかし、データ収集といっても、どのデータを収集するかが最も重要です。運用時の情報収集を含め、開発プロセス全体で「仮説検証」のフィードバックループを繰り返す必要があります。DevOpsの取り組みとも親和性が高いと考えられます。

## 仮説検証の課題

もちろん、古くから接してきた仮説検証と、これからの仮説検証には違いがあります。

これまでの仮説検証は、概念的であり、開発現場での実践は限定的で、全ての開発案件に浸透しているとはいえません。オープン系とクローズド系の開発があるとすれば、多くはオープン系で取り組まざるを得ず、どちらかと言えば「猪突猛進」型で、作っては市場に投げて市場に受け入れられないケースが頻発しています。これは、アジャイル開発の弊害の一つでもあり、少数精鋭が効率よく開発工程を短期に繰り返す中に、検証情報「利用者の本質的な声」を有効に活用できていない、というケースも見受けられます。

今回の「仮説検証ブートキャンプ」では、仮説検証の精度を高めるための手段「人間中心デザイン(人の心、生活の本質情報を抛り所とする設計開発手段)」をベースに「利用者の本質的な声」に基づいた真の仮説検証のスキル習得を目指します。

## このトレーニングが目指すもの

「仮説検証ブートキャンプ」では、企画、デザイン、設計、製造等、いわゆる開発に携わる人材だけでなく、組織強化を司る人事部門、顧客との信頼を構築する営業部門などこれまでのやり方が通用しなくなってきた部署の人材育成にもたいへん有効です。

このトレーニングを通して、社員は不確実性が高い環境でも、迅速かつ的確な行動を取り、企業の成長に貢献することが出来るようになります。社員のポテンシャルを最大限に引き出しビジネスの成功を加速させるために、ぜひこの「仮説検証ブートキャンプ」を活用してください。

一般社団法人組込みシステム技術協会 副会長 渡辺 博之  
 特定非営利活動法人人間中心設計推進機構 理事長 篠原 稔和  
 一般社団法人人間中心社会共創機構 理事長 鱗原 晴彦  
 副理事長 田丸 喜一郎

参加方法	プラン	参加費(税込)		参加要領
	A	330,000円	5名まで	企業混成チーム(3～6名予定/1チーム) 申し込みは企業単位または個人で受け付け、チーム編成は事務局によって行います。異なる企業からの参加者が混在するチームを予定しています。
	B	220,000円	3名まで	
	C	110,000円	1名まで	

公式Webサイト：<https://hv-bootcamp.biz/>

お問い合わせ：[info@hv-bootcamp.biz](mailto:info@hv-bootcamp.biz)